

# 深刻化する気候変動ー変化する災害リスクと最新情報の活用に向けて ～アダプテーション(適応)とレジリエンスの融合～ —ARISEジャパンコラボレーション委員会 レジリエンスシンポジウム 2017—

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、ARISEジャパンコラボレーション委員会は、リスク対策.comとの共催により、国際連合国際防災戦略事務局 (UNISDR) \*1駐日事務所、世界自然保護基金 (WWF) ジャパンほか多くの皆様のご協力を得て、レジリエンスシンポジウム2017を開催いたします。

第3回国連防災世界会議で採択された「仙台防災枠組2015-2030」が掲げる優先行動の1番目が「災害リスクの理解」であるように、自然災害に効果的に対処するためには、まず災害リスクを正しく理解することが不可欠です。ところが、昨年8月、気象庁の統計開始以来、初めて東北地方の太平洋側に台風が上陸し、各地に大きな被害をもたらしたように、地球温暖化に起因すると思われる異常な気象パターンの出現によって、従来のリスク常識が覆されようとしています。

また、気候変動以外にも、東日本大震災以降、防災意識の飛躍的な高まりとともに、最新の研究や技術によって災害リスク情報が次々と更新されています。こうした情報へのアクセスが比較的容易になった今、自治体や企業は、それを積極的に活用し、その立地の特徴や気象パターンの変化予測を加味することによって、より効果的な防災や発災時対応が可能になるものと考えられます。

本シンポジウムにおいては、地球温暖化がリアルな災害リスクと化す中、これまで別々に語られてきた気候変動へのアダプテーション(適応)と自然災害へのレジリエンスとを結び付けるべく、WWFジャパンの小西雅子さんをメインスピーカーに迎えて気候変動に関する最新情報をご紹介頂くほか、当委員会リスク分科会(座長:東京大学山室教授)の調査結果を参考しながら、気候変動をはじめとして変化する災害リスク情報をどう収集し活用していくのか、また、近時、活用が進んでいるレジリエンス認証制度などマネジメントへの統合について、今後取り組むべき課題を探りたいと考えています。

日常業務として、防災、災害への備えやレジリエンスの向上にご関心の皆様、奮ってのご参加を心よりお待ちしております。

敬具

主催: ARISEジャパンコラボレーション委員会

共催: リスク対策.com(新建新聞社)

協力: 国際連合国際防災戦略事務局 (UNISDR) 駐日事務所

: 世界自然保護基金 (WWF) ジャパン、PwCあらた有限責任監査法人

: レジリエンスジャパン推進協議会、アライズ・ネットワーク・ジャパン

- 日 時: 2017年9月13日(水曜日) 14:00~17:00 (受付開始 13:30~)
- 会 場: PwCあらた有限責任監査法人 汐留オフィスセミナールーム  
東京都中央区銀座8-21-1 住友不動産汐留浜離宮ビル22階
- 参加費: 無料
- プログラム: ※プログラムおよび登壇者の詳細は次ページをご参照ください。
- お申し込み: 下記のウェブサイトにてお申し込みください。  
<http://www.pwc.com/jp/seminar1>
- 定員: 200名 ※お申し込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。
- お問い合わせ: レジリエンスシンポジウム2017 事務局 担当:小野・小林  
E-mail: [pwc.seminar.mailbox@jp.pwc.com](mailto:pwc.seminar.mailbox@jp.pwc.com)

## \*1) 国際連合国際防災戦略事務局 (UNISDR) について

UNISDRはジュネーブを本部として2000年に発足した国連組織です。持続可能な開発に不可欠な要素としての防災の重要性を高め、自然災害による被害・損失の減少、災害リスクの軽減を目指し、災害に強い国やコミュニティの構築を目的としています。UNISDRは国連の防災担当部局として、国際防災協力の枠組み構築、調整のための触媒的役割を果たすと共に、多くのパートナー機関と共に各国の防災政策実施を支援しています。国連防災世界会議の事務局を勤め、国際的な防災指針である「兵庫行動枠組(2005-2015)」及び「仙台防災枠組(2015-2030)」の実施推進・支援、及び進捗モニタリング・報告も行っています。

## 【プログラム内容】

スケジュール	テーマ	登壇者
14:00-14:05	開会の挨拶 (5分)	PwCあらた有限責任監査法人 執行役副代表 木内 仁志
14:05-14:15	UNISDRからのメッセージ (10分)	国連国際防災戦略事務局 (UNISDR) 駐日事務所 代表 松岡 由季
14:15-14:35	<b>【講演】</b> 「深刻化する気候変動リスクとアダプテーション(適応)」 (20分)	世界自然保護基金(WWF)ジャパン 自然保護室次長/昭和女子大学特命教授 小西雅子(気象予報士)
14:35-14:55	<b>【講演】</b> 「多様化する災害リスクに対する企業の備え」 (20分)	リスク対策.com 新建新聞社 取締役 中澤 幸介
(休憩 15分)		
15:10-16:50	<b>【パネルディスカッション】</b> 「変化する災害リスクと最新情報の活用に向けた現状と課題とは」  (100分)	<b>【共同ファシリテーター】</b> ＜組織・経済的見地より＞ 野田 健太郎(立教大学大学院ビジネスデザイン研究科・観光学部教授)  ＜科学的見地より＞ 山室 真澄(東京大学教授/産総研クロスアポイントメントフェロー)  <b>【パネリスト】</b> 小西 雅子(WWFジャパン)  中澤 幸介(新建新聞社)  武藤 浩二(仙台市危機管理室危機管理課主幹兼危機対策係長)  伊藤 潤平(三井化学(株)経営企画部調査・渉外担当ダイレクター)  宮村 和谷(PwCあらた有限責任監査法人パートナー)
16:50-17:00	レジリエンス認証制度について 閉会の挨拶 (10分)	レジリエンスジャパン推進協議会事務局長 東京工業大学特任教授 金谷 年展

※プログラム内容、登壇者については変更となる場合がございます。予めご了承ください。

### ■個人情報の取り扱いについて

お申し込みの際にご記入いただきました個人情報は、PwCあらた有限責任監査法人の個人情報保護方針に従って適切に管理いたします。詳細の取り扱いについては、PwCあらた有限責任監査法人のウェブサイトの個人情報保護方針 (<http://www.pwc.com/jp/ja/japan-sitemap/japan-privacy/assurance.html>) をご覧ください。